

広島市植物公園

見どころ案内

ウメ‘冬至’ (バラ科)

園内のウメの中で最も早く開花するのがこの木です。暖かい年には12月中旬に咲き始めるところから冬至の名前がつけられました。まだ数輪の開花ですが、例年3月末まで花が見られます。

ニホンスイセン (ヒガンバナ科)

芝生広場のほか、花の進化園でも咲き始めました。

ヤマコウバシ (クスノキ科)

落ちない受験のお守りの木です。紅葉のあと、春の芽出しまで葉が落ちずに冬を越します。

ニイタカカマツカ (バラ科)

台湾原産で、カナメモチの仲間です。常緑葉で、赤い実が冬の間長くついています。

ソシンロウバイ (ロウバイ科)

まだ咲き始めですが、ろう細工のような黄色の花は甘い芳香を放ちます。

子福桜 (バラ科)

秋から春にかけて咲く八重咲き品種です。

チューリップ (ユリ科)

寒い時期に開花するように冷蔵処理を行ったチューリップです。寒い時期に咲くため、春に咲かせるよりも花を長く楽しめます。

カラコエ (ベンケイソウ科)

セイロンベンケイソウなどのカラコエの仲間が開花しています。ベルのようにぶら下がって咲く愛らしい花をご覧ください。

クンシラン (ヒガンバナ科)

南アフリカ原産で、花が下向きに咲くタイプです。バナナの手前で開花中です。

ドンベヤ (アオイ科)

アフリカ東部・マダガスカル原産。くす玉のような大きな花房がたくさん見られます。花色が白のものとピンクのものがあります。

タイリンヒメブツソウゲ (アオイ科)

つぼみは上向きですが、咲くと下向きになります。目立つ赤色の花びらはあまり開かず、雌しべだけを先から出すおもしろい咲き方の花です。

